

「少子化と男女共同参画に関する専門調査会」の設置について

1. 趣旨

男女共同参画の基本理念の一つである「家庭生活における活動と職業生活等他の活動との両立」は、少子化問題においても、その解決のための重要な鍵となっている。OECD 諸国においても女性の労働力率の高い国は合計特殊出生率も高い傾向にある。

しかしながら、我が国においては、女性の職場進出やその他の男女共同参画の推進と少子化との関係の十分な分析が行われていない。このため、「少子化と男女共同参画に関する専門調査会」を設置し、データ等の分析を通じて、少子化と男女共同参画の関係を整理することとする。

2. 調査内容

(1) 少子化と男女共同参画に関する実証分析

出生率と労働力率との関係、及びこれらに影響を及ぼしている世帯状況や労働環境、意識等の社会環境との関係を統計データによって把握し、関係を明らかにする。また、社会環境とその背景となる施策・制度との関係を明らかにする。

(2) 男女共同参画社会の形成が経済社会に与える影響

男女共同参画社会を形成し、少子化の流れをかえることによる経済や企業等への影響を把握する。